

町政を問う 一般質問



大津町のさまざまな課題等について、議員が町に考えを聞くのが一般質問。議員は政策提言も含めて、質問することができ、内容は自由です。ここでは、質問した議員ごとに一項目を要約してお知らせいたします。

1. 豊瀬 和久議員
2. 山本 富二夫議員
3. 佐藤 真二議員
4. 荒木 俊彦議員

5. 永田 和彦議員
6. 山部 良二議員
7. 金田 英樹議員
8. 坂本 典光議員

Q 緊急時のために町にも液体ミルクを常備しておくべき

A 乳幼児健診で活用し防災意識の向上に繋げる



子育て・健診センターに常備された乳幼児液体ミルク

豊瀬 和久議員



Q お湯に溶かすことなくそのまま赤ちゃんに与えられる便利な乳幼児液体ミルクの国内での製造、販売が開始された。液体ミルクは、お湯や清潔な水がなくても簡単に飲ませることができ、災害時に赤ちゃんの命をつなぐ貴重な栄養源となる。

A 町の宝である幼き命を守ることは大切なことだ。もちろん各家庭で備えておくことも必要だと思う。乳製品は、長期間の保存ができないので、液体ミルクを大量に備蓄することは難しい。乳幼児健診等で活用するなど、常備という形で運用し、防災意識の向上に繋がるような取り組みを進めたい。(町長)

その他の質問

- ・LGBTなどの同性カップルに婚姻相当の関係を認める「パートナーシップ制度」の導入について
- ・レンタサイクル事業について
- ・避難所自動解錠ボックスの設置について
- ・投票率を向上させる取り組みについて

Q 町の鳥獣被害対策は

A 捕獲隊体制の強化や補助金導入で

山本 富二夫議員



民家にも出没するイノシシ

その他の質問

- ・自治会・区に男女共同参画の推進
- ・立野ダムの見学会を年1回は実施を

Q 今年の冬、高尾野区でのイノシシの姿。犬が吠えても逃げない写真である。

「自分の住まいの周りに電柵設置が必要な時代が目の前に来ている」

鳥獣被害を少なくするためには、猟師・わな師の免許取得者及び、地域の協力者を増やしていかなければならない。

その為には、町からの補助金が必要である。

水俣市は電柵購入で50基250万円、大津町は15基で75万円の補助金の支出だ。

鳥獣対策費の総額は、水俣市は600万円、大津町は100万円だ。

水俣市に比べたら対策費が少ない、増額の検討を出来ないか。

A イノシシ・サル等の農作物の被害は年々増加傾向にある。捕獲隊の支援や新規猟銃免許取得支援等については、今後検討する。

(町長)

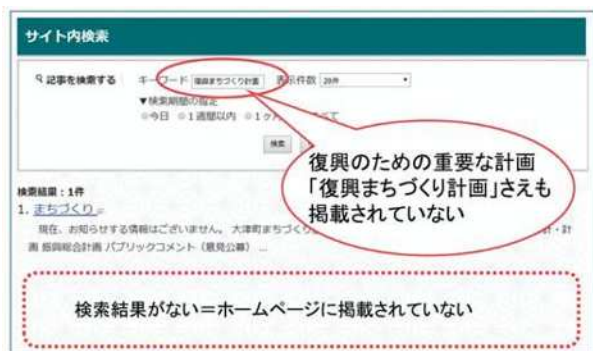
最近の市街地での目撃情報の多発を受け、人的被害を未然防止する必要がある。支援策の研究をする。

(部長)

Q ホームページの情報公開の在り方

A 問題は認識。改善に取り組む

佐藤 真二議員



情報公開が不足している事例

Q 町のホームページが新しくなって一年が過ぎた。以前よりよくなった面もあるが、全体的に情報の質と量が大きく後退しており問題が多々ある。以前の同様の質問に対し、町長は「職員の意識が重要」「情報発信の指針を検討する」と言われた。

A 今の状況を見て、改めて指針の必要性を指摘したい。

日頃から情報の提供に努めているがまだまだ

不十分なところがある。

(町長)

指摘のとおり、問題のケースが見られる。昨年10月に、町で大津町のホームページの運用管理規定を定め取り組んでいるが、現実としてはなかなか本来あるべき姿に至っていないと感じている。

今後さらには職員の意識醸成や、関係課と協力しながら、発信すべき情報の漏れ等に関するチェック体制や、掲載方法のあり方についても検討し、全庁的に取り組んでいきたい。(総務部長)

その他の質問

- ・子どもの権利条約の浸透について
- ・策定中の子ども子育て支援事業計画について

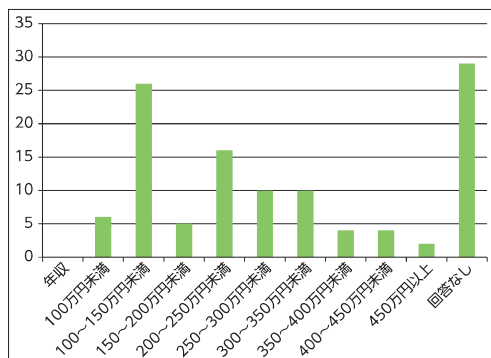
Q 保育待機児童解消のため、保育士の処遇改善を

A 更に改善は必要であり、実態調査を進める



荒木 俊彦議員

保育士アンケート（年収）調査結果
2018年 有効回答人数 合計112人
（配布者数249人・有効回収率45.0%）



その他の質問

- ・町民ボランティア活動中の保険補償
- ・公共下水道区域内の浄化槽から下水道への転換

Q 幼児期の上質な教育や保育は、将来の糧や豊かな社会につながる。保育に責任を持つ行政として入所待機解消は待たないである。

「保育士の処遇改善」にもっと真剣に取り組む必要がある。町のアンケートでも保育士の年収があまりにも少ない。全国平均の私立保育園の給料は月給21万3千円、年収で319万円程度と聞いている。

保育所の運営費は、税金と保護者の負担金である。保育士の処遇改善のため、財源が足りているかどうか。きちんと調査して対処が必要である。

A 保育ニーズは年々増えており、待機児童数は6月1日現在、23人で受け皿の確保ができていない。これまで、保育園に国・県・町による助成で業務改善や保育士の就労継続を支援してきた。本年度から町独自の保育士就職支援一時金助成など11人が申請予定で喜ばれている。今後保育士等人材バンクの設置も予定している。

Q マイナンバーカードの推進

A 時代の流れへの対応は重要である。



永田 和彦議員

Q マイナンバーカードの機能を高め、社会保障費の削減や健康維持に有効活用しなければならぬ。また、第4次産業革命のポイントはデータ活用の優劣と考えている。

既に個人データは知らないところで活用され売買されていて、保護が困難で逃れようがなく、マイナンバーカードによって町民各位の信用スコアを高める施策が必要と考える。

取引や売買において相互に評価される時代が到来した事を認識しなければならぬ。

自治体ポイントとして、健康づくりや子育てポイントと連携する取り組みが今後必要になると考える。

信用スコアについても、アメリカや中国ではすでに実施されていて、AI（人工知能）を用いた個人の各種条件（様々な支払い状況）をよりそれぞれの点数化し、優遇措置などの取り引きに利用されている。当然、このような流れは日本にも到来すると思われる、これから訪れるであろう時代を先読みし、しっかりとした対策を進めていきたい。



マイナンバーカードはデジタル時代のパスポート！

その他の質問

- ・政府統計不正問題について

Q 医療費18歳まで無料化へ

A 子育て支援体制の充実に取り組む



山部 良二議員



子育て・健診センター

その他の質問

- ・ 中小企業地域振興基本条例の制定を問う
- ・ 高齢者交通事故対策について

Q 兵庫県明石市では、市全体で子育て支援に特化したため、子育て世代が集まり、活気に溢れ子育て予算は何と2倍以上、税収は5年前より21億円増加している。子育て支援に投資を行えば財源が生まれることが証明された。

18歳まで医療費無料や、病児保育事業、保育士への家賃・給料の補助等の支援を先行すれば子育て世代が集まり、好循環は計り知れない。

未来の子どもたちに負の遺産を残さない投資のあり方と思う。

A 本町でも子育て家庭が増えている。社会情勢の急速な変化の中、地域で支え合う環境づくりが重要で、子育て支援の充実や安心して出産や子育てできる環境づくりに向けて国や県等との連携を図りながら、元気で健やかな福祉の町づくりに取り組んでいる。

今後、先進的な事例を参考に、大津町として取り組むことが出来るか、研究し、子育て支援体制の充実に努めていく。

(町長)

Q 町営住宅の入居待機改善と町の家賃収入確保

A 民間の手法なども研究し、改善に努めたい。



金田 英樹議員



大津町の町営住宅

総室数805のうち 空き98室	
修繕待ち	53室
入居募集中・募集準備中	15室
解体予定や改修時の一時利用などの政策的な空室	30室

その他の質問

- ・ LINEを活用した情報発信およびコミュニケーション戦略

Q 町営住宅への入居希望者（入居待機者）がいる一方で、長期間空室となっている部屋もある。空室期間を短縮することは入居希望者にとっても、家賃収入を得る町にとっても有益である。

さらに高齢者や外国人の増加など、時代の流れへの対応も必要である。

A 町営住宅805戸中、一般空室が68戸、うち未修繕物件が53戸。平均的な空室期間は約1年半で、半年以上の空室物件は50戸。熊本地震後は改修業者が見つかりにくく、入札でまとめて発注してい

るため修繕が遅くなっているのも理由の一つ。個々に調査を行い、費用対効果も考慮しながら、改善を図りたい。

単身者向け住宅の不足を踏まえて「空室の多いあけぼの団地高層階等へ単身入居を認めること」、高齢者の増加や、遺品整理できない物件があることを踏まえた「遺品整理に関する契約を入居時に取り交わすこと」、「入居募集の期間や手法の見直し」など、議員提示の方策や、民間の手続きも研究していきたい。

(町長)

Q 職員の民間企業への出向

A 企業連絡協議会と相談する



坂本 典光議員



その他の質問

- ・職員の昇格試験について
- ・失敗事例のデータベース化のその後

Q 小泉内閣のころから非正規の社員が多くなり、正規社員との格差がついてしまい、真面目に働いても、生きていくのが精いっぱいという人が目立つようになった。
そういう社会情勢の中で、公務員に対して「常識がずれている」「仕事にスピード感がない」「やる気に欠ける」と苦情をいう人も多くなった。公務員は全体の奉仕者、サービス業である。民間で働く人の気持ちが必要かと思う。資質向上のために職員の民間企業への出向を検討すべきではないか。

A 民間企業への出向は今までやったことはない。大津町には70社を超す誘致企業がある。
今後、企業連絡協議会の皆さんと相談して、地元企業の中での交流ができればよいと考えている。
民間の頑張っている姿を見て「信頼される職員」「大津を愛する職員」「挑戦できる職員」に育っていくと思う。(町長)

☆病氣入院のため3月議会の最終日を欠席したことをお詫び申し上げます。

経済建設委員会 意見交換会

課題を経済委員会で 話し合い改善に取り組む

大津町には「ゾロ」の像が大津中央公園へ令和2年度中に設置されることが決まりました。



子どもたちが稽古に励んだ武道場の被災をはじめ、生活が一変した大津町には、「戦闘員」のゾロが駆け付けます。剣道が盛んな土地柄を活かして、子どもたちと広場で剣の修行を重ね、地震に負けない町づくりを目指します。



南阿蘇村議会 総務常任委員会

南阿蘇村 企業誘致や商業施設は、大津町に頑張ってもらいたい。交通の不便さを解消することに、大津町で働く人が南阿蘇村に定住してくれる、町づくりを進めたい。

大津町 両町村にワンピース像の設置も決まり、お互いの交流人口が増すきっかけにしたい。

大津建設組合

組合 現在の建設業の現状や町への要望及び提言についての報告。

委員会 資機材の不足や人手不足への対応は時間がかかると思うが委員会としても努力する。

組合 資材不足は東京の状況が一段落すれば、解決に向かうと思う。

大津観光3団体

につこり会 駅北口周辺が暗いので街灯設置の検討をできないか。

町執行部 一番良い方法を検討する。

委員会 皆さんの意見を出して頂き改善できるように議会も応援する。